

博報堂D Yグループ、「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」にて
最高賞<総務大臣賞/ACC グランプリ>を4つ獲得
ACC ゴールド含む40の賞を受賞

博報堂D Yグループは、「2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」において、最高賞である総務大臣賞/ACC グランプリ4つの他、ACC ゴールド9、ACC シルバー13、ACC ブロンズ10、ACC 地域賞2、エリア&コミュニティ賞1、アンダー29賞1、合計40の賞を受賞いたしました。

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、1961年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017年よりその枠を大きく拡げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、中でも総務大臣賞/ACC グランプリは、クリエイティブ業界で活躍する関係者の大きな目標となっています。本年度は応募総数2,323作品のうち、11作品が総務大臣賞/ACC グランプリに選出されました。

受賞作品は以下の通りです。

光も影も（大塚製薬 カロリーメイト）

■総務大臣賞/ACC グランプリ：フィルム部門 A カテゴリー

■ACC シルバー：フィルムクラフト部門

エージェンシー：博報堂 / catch / ENOAD

「丸亀シェイクうどん」市場創造（トリドールホールディングス 丸亀シェイクうどん）

■総務大臣賞/ACC グランプリ：マーケティング・エフェクティブネス部門

エージェンシー：博報堂

座ってイイッス PROJECT（マイナビ マイナビバイトチェア）

■総務大臣賞/ACC グランプリ：PR 部門

■ACC ゴールド：デザイン部門

■ACC ブロンズ：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：TBWA\HAKUHODO / 博報堂

オードリーのオールナイトマック（日本マクドナルド 夜マック）

■総務大臣賞/ACC グランプリ：メディアクリエイティブ部門

媒体社：ニッポン放送

エージェンシー：博報堂 D Y メディアパートナーズ / TBWA\HAKUHODO

■ACC シルバー：ラジオ&オーディオ広告部門 B カテゴリー

■ACC ブロンズ：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：TBWA\HAKUHODO

chocoZAP 事業 (RIZAP chocoZAP)

■ACC ゴールド：マーケティング・エフェクティブネス部門

エージェンシー：博報堂

JO1 NEWSmile プロモーション「JO1 MART」(LAPONE エンタテインメント JO1 NEWSmile)

■ACC ゴールド：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：博報堂

制作会社：博報堂プロダクツ / ツープラトン / 吉本興業 / アイエヌジー

WILD MOMENT (TOYOTA 自動車 GR ブランド)

■ACC ゴールド：フィルム部門 A カテゴリー

■ACC ゴールド：フィルムクラフト部門

エージェンシー：SIX / 博報堂

PRIDE CODE (Spotify Japan / 朝日新聞社)

■ACC ゴールド：メディアクリエイティブ部門

エージェンシー：TBWA\HAKUHODO / 博報堂 D Y メディアパートナーズ

スマイルあげない (日本マクドナルド ハイヤリング)

■ACC ゴールド：フィルム部門 B カテゴリー

■ACC ゴールド：マーケティング・エフェクティブネス部門

■ACC シルバー：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：TBWA\HAKUHODO

ジャンケン (南陽 株式会社南陽)

■ACC ゴールド：フィルム部門 A カテゴリー

エージェンシー：九州博報堂

THE DAY. (大塚製薬 ボディメンテ)

■ACC シルバー：フィルム部門 A カテゴリー

エージェンシー：博報堂 / catch / ENOAD

Play Has No Limits feat.King Gnu (ソニー・インタラクティブエンタテインメント PlayStation®)

■ACC シルバー：フィルムクラフト部門

■ACC ブロンズ：ブランデッド・コミュニケーション部門 C カテゴリー

エージェンシー：SIX / 博報堂 / 博報堂ケトル

Drift Dream (TOYOTA 自動車 GR × マクドナルド コラボハッピーセット)

■ACC シルバー：フィルムクラフト部門

■ACC ブロンズ：フィルム部門 B カテゴリー

エージェンシー：SIX / 博報堂

静岡市プラモデル化計画 (静岡市 静岡市 (シティプロモーション))

■ACC シルバー：マーケティング・エフェクティブネス部門

エージェンシー：博報堂ケトル / 静岡博報堂 / dea inc.

思い出を重ね着するひな人形 きおくひとえ (人形工房 左京 きおくひとえ)

■ACC シルバー：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：SIGNING / 博報堂

約束のハッピーセット／ちがう街、おなじ味 (日本マクドナルド Family Brand)

■ACC シルバー：フィルム部門 A カテゴリー

エージェンシー：TBWA\HAKUHODO

McDonald's の発音／東京ドーム何個分／ナゲットソースの裏技／マックの春日語

(日本マクドナルド 夜マック)

■ACC シルバー：フィルム部門 B カテゴリー

エージェンシー：TBWA\HAKUHODO

世界初。クレーンゲームでしか GET できないファッションブランド「TOFT」(ワイドレジャー TOFT)

■ACC シルバー：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：九州博報堂

地域に根付いた自律共創型プラットフォーム「リモート市役所」(長野県佐久市)

■ACC シルバー：クリエイティブイノベーション部門 プロダクト&サービス

応募団体：長野県佐久市 / オズマピーアール / ブルーパドル / たきコーポレーション

超ひらパー兄さん 通過点篇 (京阪電気鉄道 ひらかたパーク)

■ACC ブロンズ：フィルム部門 A カテゴリー

■ACC 地域賞〈近畿〉：フィルム部門 A カテゴリー

エージェンシー：博報堂 関西支社

ムシューダ「大事な服には 春」篇 15秒 (エステー ムシューダ)

■ACC ブロンズ：フィルム部門 A カテゴリー

エージェンシー：博報堂

制作会社：博報堂プロダクツ

「今日、部長になった」(大塚製薬 カロリーメイト)

■ACC ブロンズ：フィルム部門 B カテゴリー

エージェンシー：博報堂

12億おじさん第1話 / 12億おじさん第2話 / 12億おじさん第3話 / 12億おじさん第4話

(独立行政法人日本スポーツ振興センター MEGA BIG)

■ACC ブロンズ：フィルム部門 B カテゴリー

エージェンシー：博報堂 / 神田商事

雲の中のお風呂 (クラシエ mä & më Latte ボディソープ)

■ACC ブロンズ：フィルムクラフト部門

エージェンシー：博報堂 / catch

日本の放置竹林を、資産に変える。『延岡メンマ』(LOCAL BAMBOO INC. 延岡メンマ)

■ACC ブロンズ：ブランデッド・コミュニケーション部門 B カテゴリー

エージェンシー：博報堂

徹底したローカル施策で、世界ブランドの象徴が関西で生んだ“奇跡の共感”「おかえり！カーネル」人形納め (日本 KFC ホールディングス)

■ACC ブロンズ：PR 部門

制作会社：オズマピーアール

ごめんねを言う日に～風の電話～篇 / ごめんねを言う日に～漂流ポスト～篇

(岩手日報社 3月11日震災広告)

■ACC 地域賞〈東北〉：フィルム部門 A カテゴリー

エージェンシー：博報堂 / 博報堂DYメディアパートナーズ

制作会社：博報堂プロダクツ

工事中の閉鎖水槽をメディアに「BLUE SEAT」(海遊館)

■エリア&コミュニティ賞：メディアクリエイティブ部門

エージェンシー：博報堂 関西支社 / 博報堂

制作会社：博報堂プロダクツ / オズマピーアール / グミ

「いつでも」篇 (新天町商店街商業共同組合 新天町母の日セール)

■アンダー29：ラジオ&オーディオ広告部門 A カテゴリー

エージェンシー：九州博報堂

アンダー29 代表制作者：小川温輝 (コピーライター)

2024 64th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS の詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.acc-awards.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室 大野 koho.mail@hakuodo.co.jp